

## 目次：学生の確保の見通し等を記載した書類

1	学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	p. 1
(1)	学生確保の見通し	p. 1
①	定員充足の見込み（概要）	p. 1
②	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	p. 1
③	学生納付金の設定の考え方	p. 5
(2)	学生確保に向けた具体的な取組状況	p. 5
①	高等学校訪問	p. 6
②	オープンキャンパス	p. 6
③	高等学校教員向け説明会	p. 7
④	進学相談会	p. 7
2	人材需要の動向等社会の要請	p. 7
(1)	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	p. 7
①	人材の養成に関する目的	p. 7
②	養成する人材	p. 8
(2)	上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	p. 9
①	最近5年間の求人件数の状況	p. 9
②	最近5年間の就職者数の状況	p. 9
③	専門の調査機関による採用意向調査結果	p. 10

## 1 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

### (1) 学生確保の見通し

#### ① 定員充足の見込み（概要）

##### 入学定員設定の考え方

平成 32 年 4 月より新たに設置する国際日本学部の国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科の入学定員設定の考え方は、国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科の最近における志願状況や就職状況を踏まえるとともに、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県の高専及び中学校の在籍者数、高専を卒業した者の大学進学状況、競合が想定される学部等の受験者動向、さらには、神奈川県をはじめとする周辺地域に所在する高専の在校生に対する進学需要調査の結果などを総合的に踏まえたうえで、入学定員を設定していることから、十分な学生確保を見込むことができるものと考えている。

具体的には、国際日本学部の国際文化交流学科の入学定員を 170 人、日本文化学科の入学定員を 60 人、歴史民俗学科の入学定員を 70 人とし、国際日本学部の国際文化交流学科が設置された場合に学生募集の停止を予定している既設の外国語学部の国際文化交流学科から入学定員 100 人を移行するとともに、既設の経済学部の経済学科から入学定員 100 人、同現代ビジネス学科から入学定員 50 人の合計 250 人の入学定員を移行し、50 人の入学定員については、定員増を行うこととする。

#### ② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

##### ア 国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科の最近 5 年間の入学志願状況等

国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科の最近 5 年間の入学志願状況等は、入学定員 100 人に対して、平均志願者数は 994 人、平均受験者数は 975 人、平均合格者数は 308 人、平均入学者数は 108 人、平均定員充足率は 1.08%となっており、昨今の 18 歳人口の減少期においても大きな影響を受けることなく、安定的な入学志願状況等を維持していることから、国際日本学部の国際文化交流学科として設置することで、より一層の学生確保の見通しがあるものと考えられる。（資料 1）※最近 5 年間の入学志願状況等

イ 神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県の高専及び中学校の在籍者数

平成30年度の神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県の学校基本調査によると、国際日本学部の開設初年度に受験対象者となる1都3県の高専に在籍している2年生の生徒数は281,147人、国際日本学部の開設2年目に受験対象者となる1都3県の高専に在籍している1年生の生徒数は284,482人となっている。

(資料2) ※学校基本調査：高専の学年別生徒数

また、国際日本学部の開設3年目に受験対象者となる1都3県の中学校に在籍している3年生の生徒数は296,408人、国際日本学部の開設4年目に受験対象者となる1都3県の中学校に在籍している2年生の生徒数は291,020人となっている。

(資料3) ※学校基本調査：中学校の学年別生徒数

なお、平成30年3月の1都3県の中学校を卒業した者の高専等への進学率の過去3年間の平均は98.9%となっており、1都3県の中学校を卒業した者の高専等への進学率を見ても、今後、1都3県の大学受験対象者が大きく減少することはない、中長期的な学生確保の見通しがあるものと考えられる。

(資料4) ※学校基本調査：中学校を卒業した者の高専等への進学率

ウ 神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県の人口動向等(年齢別人口による中長期的な見通し)

全国的に18歳人口の減少が予測されている中で、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県における学齢人口の減少は比較的緩やかな傾向が示されており、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県が公表している最新の年齢(5歳階級)別推計人口をみると、14歳～10歳の人口は1,487,051人、9歳～5歳の人口は1,448,445人となっており、今後の大学受験対象者となる14歳～5歳までの年齢別人口は、微増減を繰り返しながら穏やかに推移していくことから、中長期的にみても大学受験対象者が急激に減少することはないものと見込まれる。

(資料5) ※神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県人口統計の抜粋

エ 神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県の高専を卒業した者の大学進学状況

平成30年度の神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県の学校基本調査によると、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県内の高専を卒業した者の過去3年間の大学等進学状況は、平成30年は卒業生274,140人のうち大学等進学者は166,222人で大学等進学率

は 60.6%、平成 29 年は卒業生 275,318 人のうち大学等進学者は 168,613 人で大学等進学率は 61.2%、平成 28 年は卒業生 271,827 人のうち大学等進学者は 166,899 人で大学等進学率は 61.4%となっている。

また、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県内の高等学校を卒業した者の過去 5 年間の大学等進学率は、平成 26 年の 60.7%から毎年微増減を繰り返しながら平成 30 年は 60.6%となっており、18 歳人口の減少期においても安定した大学等進学状況で推移していることから、中長期的な確保の見通しがあるものと考えられる。

(資料 6) ※学校基本調査：高等学校の進路別卒業生の推移

オ 国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科の都道府県別入学者数の状況

国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科における最近 5 年間の都道府県別の入学者の状況をみると、神奈川県内の高等学校を卒業した者は、入学者総数 540 人の約 39.6%にあたる 214 人、東京都内の高等学校を卒業した者は、入学者総数 540 人の約 14.8%にあたる 80 人となっている。

また、埼玉県内の高等学校を卒業した者は、入学者総数 540 人の約 0.7%にあたる 4 人、千葉県内の高等学校を卒業した者は、入学者総数 540 人の約 1.7%にあたる 9 人となっており、国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科における神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県内の高等学校を卒業した者の占める割合は、入学者総数 540 人の約 56.9%にあたる 307 人と高いものとなっている。

(資料 7) ※都道府県別入学者数の状況

このような国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科の最近 5 年間における都道府県別の進学状況から、今後も神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県内の高等学校を卒業した者の入学者の傾向は続くものと見込まれ、先に記した神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県内の高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況等と併せてみても、中長期的に安定した志願者と入学者の確保を見込むことができると考えられる。

カ 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況

(ア) 国際文化交流学科

国際文化交流学科と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成30年4月現在、法政大学国際文化学部国際文化学科（入学定員249人）、成蹊大学文学部国際文化学科（入学定員110人）、明治大学国際日本学部国際日本学科（入学定員400人）で、3大学が公表している入試方式の集計値による最近3年間の平均の志願者状況をみると、募集人員184人に対して志願者数4,410人、志願倍率約22.04倍、入学定員充足率は103.9%となっており、安定的な入学志願状況等を維持している。

（資料8）※類似学科等の最近3年間の志願者状況等

（イ）日本文化学科

日本文化学科と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成30年4月現在、成蹊大学文学部日本文学科（入学定員90人）、國學院大学文学部日本文学科（入学定員255人）、法政大学文学部日本文学科（入学定員187人）で、3大学が公表している入試方式の集計値による最近3年間の平均の志願者状況をみると、募集人員117人に対して志願者数2,283人、志願倍率約18.83倍、入学定員充足率は106.7%となっており、安定的な入学志願状況等を維持している。（資料8）※類似学科等の最近3年間の志願者状況等

（ウ）歴史民俗学科

歴史民俗学科と同分野で類似の教育内容を有する大学の学部・学科で、かつ競合が想定される大学の学部・学科は、平成30年4月現在、國學院大学文学部史学科（入学定員190人）、法政大学文学部史学科（入学定員100人）、東洋大学文学部史学科（入学定員133人）で、3大学が公表している入試方式の集計値による最近3年間の平均の志願者状況をみると、募集人員106人に対して志願者数2,426人、志願倍率約20.20倍、入学定員充足率は109.1%となっており、安定的な入学志願状況等を維持している。（資料8）※類似学科等の最近3年間の志願者状況等

キ 専門の調査機関による進学意向調査結果

国際日本学部の国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科の設置計画は、国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科の最近における志願状況や就職状況を踏まえるとともに、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉

県内の高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況、競合が想定される学科等の受験者動向などを踏まえたうえで計画していることから、十分な学生確保が見込めるものと考えられるが、国際日本学部の国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的として、神奈川県をはじめとする周辺地域に所在する高等学校の2年生に対する進学意向に関するアンケート調査を実施した。

その結果、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科の「受験を希望する」と回答した373人のうち、「国際文化交流学科への進学を希望する」と回答した者は282人、国際日本学部の日本文化学科の「受験を希望する」と回答した294人のうち、「日本文化学科への進学を希望する」と回答した者は96人、国際日本学部の歴史民俗学科の「受験を希望する」と回答した239人のうち、「歴史民俗学科への進学を希望する」と回答した者は70人となっており、このような神奈川県をはじめとする周辺地域に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、国際日本学部の国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科に対する高い進学意向が確認できたことから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。(資料) ※神奈川大学国際日本学部(仮称)進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 7ページ目

### ③ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、大学及び学部運営に係る財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を踏まえるとともに、競合が想定される類似の学科を設置している私立大学の学生納付金の設定状況を勘案したうえで、完成年度における教育研究経費比率や教育活動支出依存率を見極めつつ、大学及び学部の運営上における人件費及び教育研究や管理運営に係る経常経費等の財務予測による実質的な採算分岐点に基づく金額として設定としている。(資料9) ※学科別学生納付金一覧

### (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組状況は、キャンパスガイドブック(大学案内)、パンフレット等の印刷物の配布をはじめ、ホームページや高校生向けのSNS等の電子媒体による情報の提供、新聞、雑誌、車内広告等の各種メディアを活用したPR活動を行うとともに、資料等請求者に対するダイレクトメールによる各種情報の提供を行うこととして

いる。

また、高等学校訪問、オープンキャンパス、高等学校教員向け説明会、保護者向け説明会をはじめ各地域における進学相談会などの開催を通じて、学部・学科の理念、養成する人材像、学位授与方針・教育課程編成の方針・入学者の受入方針、学生生活を通じた活動や想定される進路など様々な教育情報について、設置圏域を中心とする高校生や保護者に対して広く周知を図ることとしている。

#### ① 高等学校訪問

高等学校訪問を中心とする個別募集活動に向けた募集戦略の強化を図ることとしており、具体的には、入試業務全般を所管し、学生募集に係る業務を担っている入試センターの職員が中心となって、神奈川県及び隣接県の高等学校を中心とした重点募集対象地域の選定から最重点訪問校や重点訪問校のセグメントに基づく高等学校訪問計画の策定、指定校制推薦入学試験制度の導入と推薦依頼校の選定により、神奈川県及び隣接県内の高等学校からの確実な入学者の確保を目指すこととする。(資料 10) ※高等学校訪問の具体的計画／訪問時期・実施体制・訪問エリア・訪問学校数(目標数)等

高等学校訪問は、募集対象者が多数在籍している高等学校の教員に対して、本学の様々な教育情報を直接的に周知することができるとともに、継続的な訪問活動を行うことで、高等学校の教員との信頼関係を築くことができるものであり、高等学校の教員との信頼関係が構築できた場合には、高等学校内での生徒に対する進学説明会の実施をはじめ、当該専門分野に進学を希望している生徒の紹介などの効果が期待される。

#### ② オープンキャンパス

本学への入学を希望・検討している高校生やその保護者を対象として、模擬授業をはじめとする各種体験プログラムや学内施設を積極的に公開し、本学への関心を深めてもらうため、オープンキャンパスの実施を予定している。学部長就任予定者による講演、在学生や教職員による施設見学会、授業担当予定教員による模擬授業、大学で学べる学問内容、取得可能資格、入学者選抜制度、大学生活についての個別相談や質問を受け付けるなど、受験生や保護者との対面による丁寧な説明を行うことにより、本学への関心を深めてもらうとともに、入学後のミスマッチがおきにくい学生を入学させることの効果が期待される。(資料 11) ※オープンキャンパスの具体的計画／実施時期・実施内容・来場者

見込み者数等

③ 高等学校教員向け説明会

神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県に所在している高等学校の教員を対象とする説明会を開催する予定としており、学長による大学紹介、学部・学科別の個別説明、開学初年度の入試概要、奨学金制度、大学施設の見学など、高等学校の教員と本学の教職員との対面による丁寧な説明を行うこととしている。本学の教育・研究活動等に関する理解を深めもらうための情報提供の機会を設けることにより、高等学校の教員が本学への進学を希望する生徒に対する進路指導の際に役立ててもらふことの効果が期待される。(資料 12)

※進学懇談会の具体的計画／実施時期・開催予定エリア・来校見込み数

④ 進学相談会

全国の主要な都市で開催される民間業者が主催する進学相談会への参加を予定しており、大学・学部資料の配付や学部紹介DVDの放映から、学位授与・教育課程編成・入学者受入の方針、入学者選抜方法の種類や試験科目、書類審査、学力試験、面接試験、小論文試験などの実施方法、授業科目や講義等の内容、取得可能な資格、想定される卒業後の進路、大学周辺の施設や環境、学生寮やアパート物件などに関する情報を広く提供することにより、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県の高等学校以外からの学生を確保することの効果が期待される。(資料 13) ※進学相談会の具体的計画／実施時期・開催予定エリア

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)

① 人材の養成に関する目的

ア 国際文化交流学科

国際文化交流学科では、既存の外国語学部国際文化交流学科で成功した異文化理解教育と外国語教育を継続強化しながら、英語をはじめとする外国語のコミュニケーション能力を少人数クラスで鍛えるとともに、世界の文化、言語、社会、歴史等について広範な知識を修得させるための科目を充実させることで、多様性に特徴づけられる現代世界の文化状況を認識し、文化間の相互理解と交流に貢献できる力や、国際的視点か

ら日本文化の特徴を認識できる能力を養うことを目的とする。

イ 日本文化学科

日本文化学科では、少人数教育を通して高度な日本語の読み書き能力を修得し、その日本語によって培われた日本文化の諸相を、フィールドワークやアクティブラーニング等の手法を通じて実地に体験することで、日本文化の担い手としての自覚を深めるとともに、これからの多文化共生社会に寄与すべき資質として、他文化を理解し、尊重する、寛容の精神を、学生個々人が自らのうちに涵養することを目的とする。

ウ 歴史民俗学科

歴史民俗学科では、歴史学、民俗学、文化創生に関して、概論科目から専門性の高い科目へと体系的及び順次性に配慮した教育課程を編成するとともに、資料実習やフィールドワーク、さらには東アジアとのつながりを意識した科目、オーラルヒストリー等の多様な方法論に関する科目、日本の歴史や民俗、文化をより幅広く理解するための周辺諸地域の文化理解を援助する科目等を充実させることで、人々の歴史、民俗及び文化を客観的に理解する能力と、アジア、そして世界に対する幅広い視野を涵養することを目的とする。

② 養成する人材

ア 国際文化交流学科

国際文化交流学科では、「世界」や「世界における日本」への深い知識と洞察力を持ち、多文化に開かれた態度によって、文化間の相互理解と交流に貢献できる人材、国際的視点から日本文化の特徴を認識できる人材、世界と日本を文化交流とコミュニケーションでつなぐことのできる人材を養成する。

イ 日本文化学科

日本文化学科では、日本語の特質及びその特質から生み出された日本文化の諸相を、知識としてだけでなく技能面でも体得し、その一方で他文化への理解を深めつつ、異文化間の相互交流にも積極的に参画していける人材を養成する。

ウ 歴史民俗学科

歴史民俗学科では、長い歴史を誇る「日本常民文化研究所」で培った経験と方法により、日本の歴史及び文化について国際的な視点から考察することによって、地域におけ

る歴史と文化を深く、幅広く理解し、歴史文化の継承・保存や活用等の場面で活躍できる人材や、地域おこしなど地域活動で文化を活用して中核を担う人材を養成する。

- (2) 上記 (1) が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠
- 国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科の最近 5 年間の求人件数や就職希望者数に対する就職者数の実績は、以下に示す通り、昨今の就職難の状況下においても大きな影響を受けることなく、高い数値で推移しており、このことは、既設の外国語学部の国際文化交流学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることの裏付けとなるものである。

今般の国際日本学部の国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科の設置計画は、社会環境の変化や地域社会の要請を踏まえるとともに、国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科における卒業生の進路や卒業生を受け入れる側の需要を十分に勘案したうえで、より充実した教育組織による教育内容として設置することから、これまで以上の求人件数を見込むことができるとともに、卒業後の進路については十分に見込めるものと考えられる。

① 最近 5 年間の求人件数の状況

国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科の最近 5 年間の求人件数の実績は、平成 26 年度は就職希望者 84 人に対して求人件数 13,047 件で求人倍率は 155.3 倍、平成 27 年度は就職希望者 93 人に対して求人件数 14,944 件で求人倍率は 160.7 倍、平成 28 年度は就職希望者 83 人に対して求人件数 16,249 件で求人倍率は 195.8 倍、平成 29 年度は就職希望者 83 人に対して求人件数 16,549 件で求人倍率は 199.4 倍、平成 30 年度は就職希望者 111 人に対して求人件数 18,285 件で求人倍率は 164.7 倍と高い求人倍率となっている。(資料 14) ※最近 5 年間の求人状況等

② 最近 5 年間の就職者数の状況

国際日本学部の国際文化交流学科の基礎となる既設の外国語学部の国際文化交流学科の最近 5 年間の就職率は、平成 26 年度は 98.8% (就職者数 83 人/就職希望者 84 人)、平成 27 年度は 98.9% (就職者数 92 人/就職希望者 93 人)、平成 28 年度は 96.4% (就職者数 80 人/就職希望者 83 人)、平成 29 年度は 98.8% (就職者数 82 人/就職希望者

83人)、平成30年度は82.0% (就職者数91人/就職希望者111人)と高い就職率を示している。(資料15) ※最近5年間の就職実績

※平成30年度の就職率は、平成31年5月確定予定。

③ 専門の調査機関による採用意向調査結果

ア 国際日本学部における社会的な必要性や養成する人材の必要性

国際日本学部の国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科の設置計画を策定するうえで、国際日本学部の国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることを客観的根拠となるデータから検証することを目的として、全国の本学への求人実績のある企業・団体などを対象として国際日本学部の国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科における社会的な必要性や養成する人材と卒業生の採用に関するアンケート調査を実施した。

その結果、国際文化交流学科の社会的な必要性については、回答件数261件の95.40%にあたる249件が「必要性を感じる」と回答しており、国際文化交流学科で養成する人材については、回答件数261件の93.49%にあたる244件が「必要性を感じる」と回答しており、このことは、国際文化交流学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等、社会の要請を踏まえたものであることを示しているものであると考えられる。(資料) ※神奈川大学国際日本学部(仮称)進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 10ページ目

また、日本文化学科の社会的な必要性については、回答件数261件の89.27%にあたる233件が「必要性を感じる」と回答しており、日本文化学科で養成する人材については、回答件数261件の85.06%にあたる222件が「必要性を感じる」と回答しており、このことは、日本文化学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等、社会の要請を踏まえたものであることを示しているものであると考えられる。(資料) ※神奈川大学国際日本学部(仮称)進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 10ページ目

さらに、歴史民俗学科の社会的な必要性については、回答件数261件の85.82%にあたる224件が「必要性を感じる」と回答しており、歴史民俗学科で養成する人材につ

いては、回答件数 261 件の 84.67%にあたる 221 件が「必要性を感じる」と回答しており、このことは、歴史民俗学科における人材の養成に関する目的および、その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等、社会の要請を踏まえたものであることを示しているものであると考えられる。(資料) ※神奈川大学国際日本学部(仮称)進学需要等に関するアンケート調査結果報告書 10 ページ目

#### イ 国際日本学部で学んだ卒業生の採用

国際文化交流学科で学んだ卒業生の採用については、回答件数 261 件の 90.04%にあたる 235 件が「採用したいと思う」と回答しており、国際文化交流学科で学んだ卒業生への採用に対する積極的な意向がうかがえるとともに、国際文化交流学科で学んだ卒業生の採用人数については、「採用人数 1 人」と回答したのが 22 件、「採用人数 2 人」と回答したのが 9 件、「採用人数 3 人以上」と回答したのが 11 件、「採用人数は未定」と回答したのが 193 件となっている。

なお、「採用人数 3 人以上」と回答した採用人数を 3 人、「採用人数は未定」と回答した採用人数を 1 人としてこれらの採用人数を合計すると 266 人となり、この採用人数からも国際文化交流学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

日本文化学科で学んだ卒業生の採用については、回答件数 261 件の 81.61%にあたる 213 件が「採用したいと思う」と回答しており、日本文化学科で学んだ卒業生への採用に対する積極的な意向がうかがえるとともに、日本文化学科で学んだ卒業生の採用人数については、「採用人数 1 人」と回答したのが 21 件、「採用人数 2 人」と回答したのが 5 件、「採用人数 3 人以上」と回答したのが 9 件、「採用人数は未定」と回答したのが 177 件となっている。

なお、「採用人数 3 人以上」と回答した採用人数を 3 人、「採用人数は未定」と回答した採用人数を 1 人としてこれらの採用人数を合計すると 235 人となり、この採用人数からも日本文化学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

歴史民俗学科で学んだ卒業生の採用については、回答件数 261 件の 77.78%にあたる 203 件が「採用したいと思う」と回答しており、歴史民俗学科で学んだ卒業生への

採用に対する積極的な意向がうかがえるとともに、歴史民俗学科で学んだ卒業生の採用人数については、「採用人数 1 人」と回答したのが 24 件、「採用人数 2 人」と回答したのが 1 件、「採用人数 3 人以上」と回答したのが 8 件、「採用人数は未定」と回答したのが 170 件となっている。

なお、「採用人数 3 人以上」と回答した採用人数を 3 人、「採用人数は未定」と回答した採用人数を 1 人としてこれらの採用人数を合計すると 220 人となり、この採用人数からも歴史民俗学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

## 資料目次

- 資料 1 最近5年間の入学志願状況等
- 資料 2 高等学校の学年別生徒数(平成30年度)
- 資料 3 中学校の学年別生徒数(平成30年度)
- 資料 4 中学校を卒業した者の高等学校等への進学率(過去3年間)
- 資料 5 神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県人口統計の抜粋
- 資料 6 高等学校の進路別卒業者の推移
- 資料 7 都道府県別入学者数の状況
- 資料 8 競合が想定される学部等の受験動向
- 資料 9 学科別学生納付金一覧
- 資料 10 高等学校訪問の具体的計画／訪問時期・実施体制・訪問エリア・訪問学校数(目標数)等
- 資料 11 オープンキャンパスの具体的計画／実施時期・実施内容・来場者見込み者数等
- 資料 12 進学懇談会の具体的計画／実施時期・開催予定エリア・来校見込み数
- 資料 13 進学相談会の具体的計画／実施時期・開催予定エリア
- 資料 14 最近5年間の求人状況等
- 資料 15 最近5年間の就職実績
- その他 神奈川大学国際日本学部(仮称)進学需要等に関するアンケート調査結果報告書

最近5年間の入学志願状況等

(資料1)

年度	学科	指定校制推薦				附属推薦				外国高等学校 在学経験者				卒業生 子弟・子女				外国人留学生				スポーツ・音楽 推薦				公募制推薦				社会人				給費生試験				前期入学試験 A方式				前期入学試験 B方式				前期入学試験 C方式				後期入学試験				センター試験利用 前期				合計							
		志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学	志願	受験	合格	入学								
2014	国際文化交流	34	34	34	34	0	0	0	0	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7	6	6	24	23	11	8	0	0	0	0	254	254	101	12	302	295	67	19	17	17	5	3	29	28	15	5	54	51	19	16	263	262	70	1	989	974	331	107
2015	国際文化交流	42	42	42	42	1	1	1	1	3	2	2	2	5	5	3	3	2	2	2	1	5	5	5	5	20	18	10	8	1	1	1	1	278	275	94	19	284	278	70	17	13	13	7	4	35	32	14	6	19	17	6	3	219	218	65	7	927	909	322	119				
2016	国際文化交流	32	32	32	32	0	0	0	0	2	1	1	0	5	5	4	3	1	1	1	1	6	6	6	6	22	21	10	8	0	0	0	0	300	300	107	21	277	268	75	26	20	19	5	2	30	28	7	2	29	27	6	5	248	248	59	4	972	956	313	110				
2017	国際文化交流	34	34	34	34	0	0	0	0	3	1	1	0	3	3	3	3	2	2	2	1	7	7	4	4	10	10	6	6	0	0	0	0	298	296	106	19	289	279	47	13	17	16	4	3	26	25	7	3	20	18	9	5	268	267	64	10	977	958	287	101				
2018	国際文化交流	31	31	31	31	1	1	1	0	3	2	1	1	5	5	5	5	3	2	1	1	2	2	2	2	27	26	13	8	0	0	0	0	375	373	109	19	285	274	51	22	33	30	4	2	29	29	6	2	54	50	3	0	257	257	61	10	1,105	1,082	288	103				
																																										合計	4,970	4,879	1,541	540																			
																																										平均	994	975.8	308	108																			

出典：神奈川大学 入試志願情報(過去5年間)

学校基本調査：高等学校の学年別生徒数（平成30年度）

（資料2）

都道府県	2学年			3学年		
	男	女	合計（人）	男	女	合計（人）
埼玉県	30,593	28,174	58,767	30,390	28,346	58,736
千葉県	25,790	24,996	50,786	25,472	24,565	50,037
東京都	52,054	53,474	105,528	50,943	53,106	104,049
神奈川県	34,927	34,474	69,401	34,377	33,948	68,325
合計	143,364	141,118	284,482	141,182	139,965	281,147

出典：学校基本調査（平成30年度）高等学校 学年別生徒数

学校基本調査：中学校の学年別生徒数（平成30年度）

（資料3）

都道府県	2学年			3学年		
	男	女	合計（人）	男	女	合計（人）
埼玉県	32,019	30,396	62,415	32,679	30,813	63,492
千葉県	27,326	25,823	53,149	27,501	26,269	53,770
東京都	50,760	49,448	100,208	51,930	50,141	102,071
神奈川県	38,490	36,758	75,248	39,536	37,539	77,075
合計	148,595	142,425	291,020	151,646	144,762	296,408

出典：学校基本調査（平成30年度）中学校 学年別生徒数

(資料4)

学校基本調査：中学校を卒業した者の高等学校等への進学率（過去3年間）

都道府県	平成30年度			平成29年度			平成28年度		
	卒業者数	高等学校等 進学者	進学率 (%)	卒業者数	高等学校等 進学者	進学率 (%)	卒業者数	高等学校等 進学者	進学率 (%)
埼玉	64,508	63,850	99.0%	65,634	65,035	99.1%	65,474	64,806	99.0%
千葉	54,798	54,170	98.9%	55,188	54,556	98.9%	55,425	54,760	98.8%
東京都	102,257	100,962	98.7%	103,274	101,960	98.7%	104,543	103,289	98.8%
神奈川県	77,611	76,913	99.1%	78,659	77,830	98.9%	79,314	78,474	98.9%
合計	299,174	295,895	98.9%	302,755	299,381	98.9%	304,756	301,329	98.9%

過去3年間

卒業者数	高等学校等 進学者	進学率 (%)
906,685	896,605	98.9%

出典：学校基本調査（平成30年～28年）中学校卒業後の状況調査

神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県人口統計の抜粋

(平成30年度)

(資料5)

都道府県	年齢	人口(人)
埼玉	10～14歳	321,808
千葉	10～14歳	273,057
東京	10～14歳	495,315
神奈川	10～14歳	396,871
	合計	1,487,051

都道府県	年齢	人口(人)
埼玉	5～9歳	306,976
千葉	5～9歳	257,968
東京	5～9歳	501,345
神奈川	5～9歳	382,156
	合計	1,448,445

出展：学校基本調査（平成30年度）

神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県が公表している最新の年齢（5歳階級）別推計人口より

## 学校基本調査：学校基本調査：高等学校の進路別卒業者の推移

都道府県	平成30年度			平成29年度			平成28年度		
	卒業生数	大学等進学者	進学率 (%)	卒業生数	大学等進学者	進学率 (%)	卒業生数	大学等進学者	進学率 (%)
埼玉	56,970	32,572	57.2%	57,262	32,989	57.6%	57,150	32,513	56.9%
千葉	49,149	27,381	55.7%	49,330	27,466	55.7%	48,944	27,451	56.1%
東京	101,782	65,863	64.7%	102,326	67,455	65.9%	100,422	66,778	66.5%
神奈川	66,239	40,406	61.0%	66,400	40,703	61.3%	65,311	40,157	61.5%
合計	274,140	166,222	60.6%	275,318	168,613	61.2%	271,827	166,899	61.4%

都道府県	平成26年度		
	卒業生数	大学等進学者	進学率 (%)
埼玉	55,057	31,192	56.7%
千葉	47,553	25,665	54.0%
東京	98,535	65,088	66.1%
神奈川	63,150	38,526	61.0%
合計	264,295	160,471	60.7%

出典：学校基本調査（平成30年～28年及び26年）高等学校卒業後の状況調査

## 都道府県別入学者数の状況

(資料7)

年度	入学者数	東京	神奈川	埼玉	千葉
2018	103	17	51	1	2
2017	101	13	43	1	0
2016	110	13	44	2	1
2015	119	17	44	0	4
2014	107	20	32	0	2
<b>合計</b>	<b>540</b>	<b>80</b>	<b>214</b>	<b>4</b>	<b>9</b>
割合		14.8%	39.6%	0.7%	1.7%
東京、神奈川、埼玉、千葉県出身者				307	
<b>占有率</b>	<b>56.9%</b>				

出典：神奈川大学 入学者情報より

競合が想定される学部等の受験動向

(資料8)

(1) 国際文化交流学科と同分野

大学	2018年	2017年	2016年	計	平均	2018年	2017年	2016年	計	平均	2018年	2017年	2016年	計	平均	2018年	2017年	2016年	平均		
	入学定員	入学定員	入学定員	入学定員	入学定員	募集人員	募集人員	募集人員	募集人員	募集人員	志願者数	志願者数	志願者数	志願者数計	志願者数計	志願倍率	志願倍率	志願倍率	志願倍率		
法政大学国際文化学部国際文化学科	249	249	249	747	249	152	154	159	465	155	3,775	4,636	3,109	11,520	3,840	24.8	30.1	19.6	24.83		
成蹊大学文学部国際文化学科	110	110	110	330	110	110	110	110	330	110	1,513	1,354	1,683	4,550	1,517	13.8	12.3	15.3	13.79		
明治大学国際日本学部国際日本学科	400	350	350	1,100	367	328	268	964	864	288	8,255	7,727	7,634	23,616	7,872	25.2	28.8	28.5	27.49		
平均					242					184					4,410				22.04		
大学	2018年	2017年	2016年	2018年	2017年	2016年															
	入学者数	入学者数	入学者数	入学定員充足率	入学定員充足率	入学定員充足率	入学定員充足率														
法政大学国際文化学部国際文化学科	270	265	278	1.08	1.06	1.12	108.8%														
成蹊大学文学部国際文化学科	104	120	102	0.95	1.09	0.93	98.8%														
明治大学国際日本学部国際日本学科	330	401	402	0.83	1.15	1.15	104.0%														
平均							103.9%														

(2) 日本文化学科と同分野

大学	2018年	2017年	2016年	計	平均	2018年	2017年	2016年	計	平均	2018年	2017年	2016年	計	平均	2018年	2017年	2016年	平均		
	入学定員	入学定員	入学定員	入学定員	入学定員	募集人員	募集人員	募集人員	募集人員	募集人員	志願者数	志願者数	志願者数	志願者数計	志願者数計	志願倍率	志願倍率	志願倍率	志願倍率		
成蹊大学文学部日本文学科	90	90	90	270	90	90	90	90	270	90	1,232	1,298	1,091	3,621	1,207	13.7	14.4	12.1	13.4		
國學院大学文学部日本文学科	255	255	255	765	255	147	145	145	437	146	3,538	3,142	3,131	9,811	3,270	24.1	21.7	21.6	22.4		
法政大学文学部日本文学科	187	187	187	561	187	187	115	115	345	115	2,379	2,571	2,168	7,118	2,373	20.7	22.4	18.9	20.6		
平均					177					117					2283					18.83	
大学	2018年	2017年	2016年	2018年	2017年	2016年															
	入学者数	入学者数	入学者数	入学定員充足率	入学定員充足率	入学定員充足率	入学定員充足率														
成蹊大学文学部日本文学科	105	92	87	1.17	1.02	0.97	105.2%														
國學院大学文学部日本文学科	264	273	279	1.04	1.07	1.09	106.7%														
法政大学文学部日本文学科	187	189	231	1.00	1.01	1.24	108.2%														
平均							106.7%														

(3) 歴史民俗学科と同分野

大学	2018年	2017年	2016年	計	平均	2018年	2017年	2016年	計	平均	2018年	2017年	2016年	計	平均	2018年	2017年	2016年	平均		
	入学定員	入学定員	入学定員	入学定員	入学定員	募集人員	募集人員	募集人員	募集人員	募集人員	志願者数	志願者数	志願者数	志願者数計	志願者数計	志願倍率	志願倍率	志願倍率	志願倍率		
國學院大学文学部史学科	190	190	190	570	190	128	123	123	374	125	3,018	3,205	2,525	8,748	2,916	23.6	26.1	20.5	23.4		
法政大学文学部史学科	100	100	100	300	100	71	71	72	214	71	2,086	2,102	1,705	5,893	1,964	29.4	29.6	23.7	27.6		
東洋大学文学部史学科	133	133	133	399	133	121	121	121	363	121	2,758	2,460	1,972	7,190	2,397	22.8	20.3	16.3	19.8		
平均					141					106					2426					20.2	
大学	2018年	2017年	2016年	2018年	2017年	2016年															
	入学者数	入学者数	入学者数	入学定員充足率	入学定員充足率	入学定員充足率	入学定員充足率														
國學院大学文学部史学科	195	201	220	1.03	1.06	1.16	108.1%														
法政大学文学部史学科	113	108	129	1.13	1.08	1.29	116.7%														
東洋大学文学部史学科	137	126	146	1.03	0.95	1.10	102.5%														
平均							109.1%														

## 別表第7 (第49条関係)

授業料, 履修費その他の納入金

(単位: 円)

区分	学 部	平成29・30・31年度入学生適用			平成32年度入学生適用			
検 定 料	全 学 部				35,000			
					15,000 ※センター試験利用者			
入 学 金	法 学 部				200,000			
	経 済 学 部							
	外国語学部							
	国際日本学部							
	人間科学部							
理 学 部	経 営 学 部				200,000			
	工 学 部							
授 業 料		2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	3年次	4年次
	法 学 部				690,000	710,000	715,000	735,000
	経 済 学 部				690,000	710,000	715,000	735,000
	外国語学部	690,000	710,000	730,000	790,000	810,000	830,000	850,000
	国際日本学部				790,000	810,000	830,000	850,000
	人間科学部				690,000	710,000	715,000	735,000
	経 営 学 部				690,000	710,000	715,000	735,000
	理 学 部	980,000	1,000,000	1,020,000	960,000	1,000,000	1,005,000	1,025,000
工 学 部				980,000	1,000,000	1,005,000	1,025,000	
施 設 設 備 資 金	法 学 部							
	経 済 学 部	260,000			260,000			
	外国語学部							
	国際日本学部							
	人間科学部							
経 営 学 部								
理 学 部	320,000			320,000				
工 学 部								
実 習 料	理 学 部							
	工 学 部							
入 学 初 年 度 合 計	法 学 部				1,150,000			
	経 済 学 部				1,150,000			
	外国語学部				1,250,000			
	国際日本学部				1,250,000			
	人間科学部				1,150,000			
	経 営 学 部				1,150,000			
	理 学 部				1,500,000			
工 学 部				1,500,000				

## 科目等履修生履修費

	非実験科目 (1単位につき)	実験科目 (1単位につき)
科目等履修生	15,000	20,000
コース履修生	15,000 (8,000)	20,000 (8,000)

( )は本学卒業生対象。

## 研究生研修料

学 部	年間学費	半期学費
法・経済・経営・外国語・国際日本・人間科	400,000	200,000
理・工	500,000	250,000

\*外国語学部英語英文学科及びスペイン語学科が実施する半期留学に係る費用は別に定める。

高等学校訪問の具体的計画／訪問時期・実施体制・訪問エリア・訪問学校数（目標数）等

訪問エリア (都道府県)	訪問高等学校数 (目標数)	訪問時期	実施体制
埼 玉	10	5月下旬～6月／ 9月下旬～11月	本学の文系学部志願者が多い高等学校を対象に、入試センター職員を中心に訪問
千 葉	20		
神 奈 川	120		
東 京	50		
その他の道府県	70		

## オープンキャンパスの具体的計画／実施時期・実施内容・来場者見込み者数等（2019年度）

## 1. 夏のオープンキャンパスについて

実施内容：大学紹介、学部紹介、入試ガイダンス、体験授業、ゼミナール・研究室紹介、  
キャンパスツアー、保護者向けガイダンス、個別相談、在学生・教員との相談 他

日程	開催時間	開催場所	来場者見込み人数（学生数）
2019年7月14日（日）	10：30～15：00	湘南ひらつかキャンパス	1,000名
2019年8月2日（金）	10：30～15：00	湘南ひらつかキャンパス	
2019年8月8日（木）	10：00～15：30	横浜キャンパス	1,100名
2019年8月9日（金）	10：00～15：30	横浜キャンパス	
2019年8月10日（土）	10：00～15：30	横浜キャンパス	
来場者見込み人数（合計）			2,100名

## 2. 春のオープンキャンパスについて

実施内容：大学紹介、学部紹介、入試ガイダンス、体験授業、ゼミナール・研究室紹介、  
キャンパスツアー、保護者向けガイダンス、個別相談、在学生・教員との相談 他

日程	開催時間	開催場所	来場者見込み人数（学生数）
2020年3月20日（金）	10：00～15：00	横浜キャンパス	1,300名

## 進学懇談会の具体的計画／実施時期・開催予定エリア・来校見込み数（2019年度）

実施内容：新学部の学び、新キャンパスの進捗、本学の成長支援への取り組み、  
入試結果報告、基本方針の説明、キャンパスツアー

対象：関東甲信越、中部地方の高等学校から抽出予定

日程	開始時間	開催場所	来校見込み数（高等学校）
2019年5月9日（木）	15:00	横浜キャンパス	300校
2019年5月10日（金）	15:00	横浜キャンパス	
2019年5月13日（月）	15:00	横浜キャンパス	

## 進学相談会の具体的計画／実施時期・開催予定エリア（2019年度）

## 関東

日程		地域	開催地	会場
4月21日	日	関東	東京	渋谷クロスタワー
4月23日	火	関東	神奈川	パシフィコ横浜
4月26日	金	関東	神奈川	新都市ホール
4月27日	土	関東	神奈川	横浜新都市ホール（横浜そごう）
5月6日	月	関東	神奈川	横浜ランドマークタワー
5月25日	土	関東	群馬	ビエント高崎ビッグキューブ
5月26日	日	関東	東京	秋葉原ダイビル2階 コンベンションホール
5月28日	火	関東	茨城	水戸プラザホテル
5月30日	木	関東	茨城	つくばカピオ
6月1日	土	関東	神奈川	横浜新都市ホール（横浜そごう）
6月4日	火	関東	栃木	マロニエプラザ
6月5日	水	関東	埼玉	大宮ソニックシティ
6月5日	水	関東	栃木	マロニエプラザ
6月8日	土	関東	東京	東京ビッグサイト
6月9日	日	関東	千葉	東京ベイ幕張ホール
6月13日	木	関東	神奈川	横浜新都市ビル(そごう)
7月11日	木	関東	群馬	前橋市民文化会館
7月16日	火	関東	神奈川	パシフィコ横浜
7月28日	日	関東	神奈川	パシフィコ横浜
9月予定	-	関東	茨城	水戸三の丸ホテル
9月4日	水	関東	栃木	マロニエプラザ
9月19日	木	関東	群馬	高崎アリーナ
9月22日	日	関東	東京	渋谷クロスタワー
9月29日	日	関東	神奈川	パシフィコ横浜
10月20日	日	関東	東京	サンシャインシティワールドインポートマートビル
2020年3月予定	-	関東	神奈川	横浜新都市ホール
2020年3月予定	-	関東	東京	東京国際フォーラム
		<b>会場数</b>	<b>27</b>	

最近5年間の求人状況等

(資料14)

国際文化交流学科			就職 希望者数 (自営業 含まない)	求人社数	求人倍率
					求人社数/ 就職希望者
平成26年度	2014年度	2015卒	84	13,047	155.3
平成27年度	2015年度	2016卒	93	14,944	160.7
平成28年度	2016年度	2017卒	83	16,249	195.8
平成29年度	2017年度	2018卒	83	16,549	199.4
平成30年度	2018年度	2019卒	111	18,285	164.7

※平成30年度(2018年度)の就職関係の値は、現在集計・調査中。5月確定報告。

最近5年間の就職実績

(資料15)

国際文化交流学科			卒業生数	就職 希望者数 (自営業 含まない)	就職者数 (自営業 含まない)	就職率
						(自営業 含まない) 就職者/ 就職希望者
平成26年度	2014年度	2015卒	93	84	83	98.8%
平成27年度	2015年度	2016卒	109	93	92	98.9%
平成28年度	2016年度	2017卒	94	83	80	96.4%
平成29年度	2017年度	2018卒	95	83	82	98.8%
平成30年度	2018年度	2019卒	128	111	91	82.0%

※平成30年度(2018年度)の就職関係の値は、現在集計・調査中。5月確定報告。

神奈川県立国際日本学部(仮称)進学需要等に関するアンケート調査  
結果報告書

---

平成31年2月

株式会社 島津理化

# 目 次

## I. 進学需要調査（集計結果）

調査対象等	1
調査結果概要	2～7
調査対象者に関する質問事項	
性別	2
進学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	3
進学を希望する分野	4
神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項	
国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科への興味・関心	5
国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科の受験希望	6
国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科への進学希望	7

## II. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	8
調査結果概要	9～15
人材需要全般に関する質問事項	
人材の採用見込み／国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科	9
神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項	
国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科の社会的な必要性	10
国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科で養成する人材の必要性	11
国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科の卒業生の採用	12
国際文化交流学科の卒業生の採用人数	13
日本文化学科の卒業生の採用人数	14
歴史民俗学科の卒業生の採用人数	15

## III. 参考資料

### 進学需要調査関係

アンケート調査票／高校生

設置計画の概要

進学需要調査 調査依頼先一覧

### 人材需要調査関係

アンケート調査票／企業等

人材需要調査 調査依頼先一覧

## I. 進学需要調査（集計結果）

## I. 進学需要調査（集計結果）

### 【調査対象等】

神奈川大学では、平成32年4月より国際日本学部（国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科）の設置を計画しており、この国際日本学部（国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科）の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

#### ①調査対象

神奈川県及び東京都に所在する高等学校

#### ②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

#### ③調査実施

平成30年11月～平成31年1月

#### ④調査件数

回収件数： 21校

回答者数：3,454人

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

## 【調査結果概要】

<調査対象者に関する質問事項>

### 【性別】

神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に、性別について質問したところ、回答者数3,454人の約44.24%にあたる1,528人が「男性」と回答しており、約53.88%にあたる1,861人が「女性」と回答している。

性別

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	男性	1,528	44.24
2	女性	1,861	53.88
3	その他	51	1.48
	未回答・不明	14	0.41
	合計	3,454	100.00

## 【調査結果概要】

### <進学全般に関する質問事項>

#### 1. 高等学校卒業後の進路

神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数3,454人の約95.98%にあたる3,315人が「大学進学（4年制・6年制）」「短期大学進学」「専門学校進学」と回答しており、そのうち「大学進学（4年制・6年制）」への進学を希望している者は、回答者数3,454人の約80.63%にあたる2,785人と最も高い数値を示していることから、大学（4年制・6年制）への進学意向の高さをうかがうことができる。

#### 問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	大学進学（4年制・6年制）	2,785	80.63
2	短期大学進学	130	3.76
3	専門学校進学	400	11.58
4	就職	77	2.23
5	その他	44	1.27
	未回答・不明	18	0.52
	合計	3,454	100.00

<進学全般に関する質問事項>

**2. 進学を希望する分野**

神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望では、「経済学・経営学関係」と回答した者が回答者数3,454人の約14.30%にあたる494人で最も多く、次いで「文学・史学・哲学関係」と回答した者が約13.00%にあたる449人となっている。

なお、国際文化学部が対象とする「文学・史学・哲学関係」又は「語学・文化学関係」を第1希望と回答した者は、回答者数3,454人の約23.94%にあたる827人となっている。

問2 進学を希望する分野

No.	進学希望分野	第1希望		第2希望	
		件数/人	全体/%	件数/人	全体/%
1	文学・史学・哲学関係	449	13.00	485	14.04
2	教育学・保育学関係	309	8.95	390	11.29
3	法学・政治学関係	218	6.31	248	7.18
4	社会学・福祉学関係	124	3.59	234	6.77
5	経済学・経営学関係	494	14.30	367	10.63
6	工学・理学関係	392	11.35	92	2.66
7	医学・歯学・薬学関係	90	2.61	138	4.00
8	語学・文化学関係	378	10.94	329	9.53
9	家政学・生活科学関係	103	2.98	105	3.04
10	美術学・音楽学関係	164	4.75	170	4.92
11	体育学・スポーツ学関係	120	3.47	163	4.72
12	看護学関係	148	4.28	102	2.95
13	医療技術学関係	56	1.62	106	3.07
14	その他	356	10.31	156	4.52
	未回答・不明	53	1.53	369	10.68
	合計	3,454	100.00	3,454	100.00

<神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項>

### 3. 国際文化交流学科への興味・関心

神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科への興味・関心について質問したところ、回答者数 3,454 人の約 30.78%にあたる 1,063 人が「興味・関心がある」と回答していることから、高校生の神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

#### 問3 国際文化交流学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	1,063	30.78
2	興味・関心がない	2,369	68.59
	未回答・不明	22	0.64
	合計	3,454	100.00

### 4. 日本文化学科への興味・関心

神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科への興味・関心について質問したところ、回答者数 3,454 人の約 24.93%にあたる 861 人が「興味・関心がある」と回答していることから、高校生の神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

#### 問4 日本文化学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	861	24.93
2	興味・関心がない	2,572	74.46
	未回答・不明	21	0.61
	合計	3,454	100.00

### 5. 歴史民俗学科への興味・関心

神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科への興味・関心について質問したところ、回答者数 3,454 人の約 17.60%にあたる 608 人が「興味・関心がある」と回答していることから、高校生の神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

#### 問5 歴史民俗学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	608	17.60
2	興味・関心がない	2,811	81.38
	未回答・不明	35	1.01
	合計	3,454	100.00

<神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項>

**6. 国際文化交流学科の受験希望**

神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科の受験希望について質問したところ、回答者数3,454人の約10.80%にあたる373人が「受験を希望する」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科への受験に積極的な意向を示している。

問6 国際文化交流学科の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	373	10.80
2	受験を希望しない	3,040	88.01
	未回答・不明	41	1.19
	合計	3,454	100.00

**7. 日本文化学科の受験希望**

神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科の受験希望について質問したところ、回答者数3,454人の約8.51%にあたる294人が「受験を希望する」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科への受験に積極的な意向を示している。

問7 日本文化学科の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	294	8.51
2	受験を希望しない	3,121	90.36
	未回答・不明	39	1.13
	合計	3,454	100.00

**8. 歴史民俗学科の受験希望**

神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科の受験希望について質問したところ、回答者数3,454人の約6.92%にあたる239人が「受験を希望する」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科への受験に積極的な意向を示している。

問8 歴史民俗学科の受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	239	6.92
2	受験を希望しない	3,178	92.01
	未回答・不明	37	1.07
	合計	3,454	100.00

<神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項>

**9. 国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科への進学希望**

神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に、国際日本学部の国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、「国際文化交流学科への進学を希望する」と回答した者は、回答者数3,454人の約17.46%にあたる603人、「日本文化学科への進学を希望する」と回答した者は、回答者数3,454人の約19.48%にあたる673人、「歴史民俗学科への進学を希望する」と回答した者は、回答者数3,454人の約3.97%にあたる137人となっている。

また、国際日本学部の国際文化交流学科の「受験を希望する」と回答した者のうち、合格した場合「国際文化交流学科への進学を希望する」と回答した者は282人、日本文化学科の「受験を希望する」と回答した者のうち、合格した場合「日本文化学科への進学を希望する」と回答した者は96人、歴史民俗学科の「受験を希望する」と回答した者のうち、合格した場合「歴史民俗学科への進学を希望する」と回答した者は70人となっている。

このような神奈川県を中心に所在する高等学校の2年生に限定した調査結果においても、国際日本学部の国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科への受験希望と進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問9 国際文化交流学科・日本文化学科・歴史民俗学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	国際文化交流学科への進学を希望する	603	17.46
2	日本文化学科への進学を希望する	673	19.48
3	歴史民俗学科への進学を希望する	137	3.97
4	進学を希望しない	2001	57.93
	未回答・不明	40	1.16
	合計	3,454	100.00

問6-1×問9-1 国際文化交流学科への受験を希望×国際文化交流学科への進学を希望

No.	カテゴリ	件数/人
1*1	国際文化交流学科 受験を希望/進学を希望	282

問7-1×問9-2 日本文化学科への受験を希望×日本文化学科への進学を希望

No.	カテゴリ	件数/人
1*2	日本文化学科 受験を希望/進学を希望	96

問8-1×問9-3 歴史民俗学科への受験を希望×歴史民俗学科への進学を希望

No.	カテゴリ	件数/人
1*3	歴史民俗学科 受験を希望/進学を希望	70

## Ⅱ. 人材需要調査（集計結果）

## Ⅱ. 人材需要調査（集計結果）

### 【調査対象等】

神奈川大学では、平成32年4月より国際日本学部（国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科）の設置を計画しており、この国際日本学部（国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科）の設置計画を策定するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

#### ①調査対象

本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

#### ②調査方法

民間企業等への郵送による配布、回収

#### ③調査実施

平成30年11月～平成30年12月

#### ④調査件数

回収件数：261件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

## 【調査結果概要】

### <人材需要全般に関する質問事項>

#### 1. 人材の採用見込み／国際文化交流学科

民間企業等に対して、今後の人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 261 社の約 68.20%にあたる 178 社が「増加すると思う」と回答していることから、民間企業等における人材の採用見込みの高さをうかがうことができる。

##### 問1 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	増加すると思う	178	68.20
2	増加すると思わない	79	30.27
	未回答・不明	4	1.53
	合計	261	100.00

#### 1. 人材の採用見込み／日本文化学科

民間企業等に対して、今後の人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 261 社の約 64.75%にあたる 169 社が「増加すると思う」と回答していることから、民間企業等における人材の採用見込みの高さをうかがうことができる。

##### 問1 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	増加すると思う	169	64.75
2	増加すると思わない	80	30.65
	未回答・不明	12	4.60
	合計	261	100.00

#### 1. 人材の採用見込み／歴史民俗学科

民間企業等に対して、今後の人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 261 社の約 65.90%にあたる 172 社が「増加すると思う」と回答していることから、民間企業等における人材の採用見込みの高さをうかがうことができる。

##### 問1 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	増加すると思う	172	65.90
2	増加すると思わない	75	28.74
	未回答・不明	14	5.36
	合計	261	100.00

<神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項>

**2. 国際文化交流学科の社会的な必要性**

民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科の社会的な必要性について質問したところ、回答件数 261 社の約 95.40%にあたる 249 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 国際文化交流学科の社会的な必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	249	95.40
2	必要性を感じない	8	3.07
	未回答・不明	4	1.53
	合計	261	100.00

**2. 日本文化学科の社会的な必要性**

民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科の社会的な必要性について質問したところ、回答件数 261 社の約 89.27%にあたる 233 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 日本文化学科の社会的な必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	233	89.27
2	必要性を感じない	14	5.36
	未回答・不明	14	5.36
	合計	261	100.00

**2. 歴史民俗学科の社会的な必要性**

民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科の社会的な必要性について質問したところ、回答件数 261 社の約 85.82%にあたる 224 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 歴史民俗学科の社会的な必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	224	85.82
2	必要性を感じない	22	8.43
	未回答・不明	15	5.75
	合計	261	100.00

<神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項>

**3. 国際文化交流学科で養成する人材の必要性**

民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科で養成する人材について質問したところ、回答件数 261 社の約 93.49%にあたる 244 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 国際文化交流学科で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	244	93.49
2	必要性を感じない	14	5.36
	未回答・不明	3	1.15
	合計	261	100.00

**3. 日本文化学科で養成する人材の必要性**

民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科で養成する人材について質問したところ、回答件数 261 社の約 85.06%にあたる 222 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 日本文化学科で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	222	85.06
2	必要性を感じない	22	8.43
	未回答・不明	17	6.51
	合計	261	100.00

**3. 歴史民俗学科で養成する人材の必要性**

民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科で養成する人材について質問したところ、回答件数 261 社の約 84.67%にあたる 221 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 歴史民俗学科で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	221	84.67
2	必要性を感じない	26	9.96
	未回答・不明	14	5.36
	合計	261	100.00

<神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項>

**4. 国際文化交流学科で学んだ卒業生の採用**

民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 261 社の約 90.04%にあたる 235 社が「採用したいと思う」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問 4 国際文化交流学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したいと思う	235	90.04
2	採用したいと思わない	24	9.20
	未回答・不明	2	0.77
	合計	261	100.00

**4. 日本文化学科で学んだ卒業生の採用**

民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 261 社の約 81.61%にあたる 213 社が「採用したいと思う」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問 4 日本文化学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したいと思う	213	81.61
2	採用したいと思わない	36	13.79
	未回答・不明	12	4.60
	合計	261	100.00

**4. 歴史民俗学科で学んだ卒業生の採用**

民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 261 社の約 77.78%にあたる 203 社が「採用したいと思う」と回答しており、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問 4 歴史民俗学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したいと思う	203	77.78
2	採用したいと思わない	46	17.62
	未回答・不明	12	4.60
	合計	261	100.00

<神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項>

**5. 国際文化交流学科で学んだ卒業生の採用人数**

問4で神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科で学んだ学生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「1人」と回答したのが22社、「2人」と回答したのが9社、「3人以上」と回答したのが11社となっている。

また、「3人以上」と回答した民間企業等の採用人数を3人とし、「人数は未定」と回答した民間企業等の採用人数を1人として、これらの採用人数を合計すると266人となり、この採用人数からも神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川大学の国際日本学部の国際文化交流学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 国際文化交流学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1人	22	9.36
2	2人	9	3.83
3	3人以上	11	4.68
4	人数は未定	193	82.13
	未回答・不明	0	0.00
	合計	235	100.00

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1*1	採用したい/1人	22	22
1*2	採用したい/2人	9	18
1*3	採用したい/3人以上	11	33
1*4	採用したい/人数は未定	193	193
	合計	235	266

<神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項>

**5. 日本文化学科で学んだ卒業生の採用人数**

問4で神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科で学んだ学生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「1人」と回答したのが21社、「2人」と回答したのが5社、「3人以上」と回答したのが9社となっている。

また、「3人以上」と回答した民間企業等の採用人数を3人とし、「人数は未定」と回答した民間企業等の採用人数を1人として、これらの採用人数を合計すると235人となり、この採用人数からも神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川大学の国際日本学部の日本文化学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 日本文化学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1人	21	9.86
2	2人	5	2.35
3	3人以上	9	4.23
4	人数は未定	177	83.10
	未回答・不明	1	0.47
	合計	213	100.00

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1*1	採用したい/1人	21	21
1*2	採用したい/2人	5	10
1*3	採用したい/3人以上	9	27
1*4	採用したい/人数は未定	177	177
	合計	212	235

<神奈川大学の国際日本学部に関する質問事項>

**5. 歴史民俗学科で学んだ卒業生の採用人数**

問4で神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科で学んだ学生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等に対して、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「1人」と回答したのが24社、「2人」と回答したのが1社、「3人以上」と回答したのが8社となっている。

また、「3人以上」と回答した民間企業等の採用人数を3人とし、「人数は未定」と回答した民間企業等の採用人数を1人として、これらの採用人数を合計すると220人となり、この採用人数からも神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川大学の国際日本学部の歴史民俗学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 歴史民俗学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1人	24	11.82
2	2人	1	0.49
3	3人以上	8	3.94
4	人数は未定	170	83.74
	未回答・不明	0	0.00
	合計	203	100.00

問4×問5 卒業生の採用×卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1*1	採用したい/1人	24	24
1*2	採用したい/2人	1	2
1*3	採用したい/3人以上	8	24
1*4	採用したい/人数は未定	170	170
	合計	203	220